

「第2回アドバイザー会議」における質問内容及び回答内容

調書番号:6 事業名:U・Iターン就職促進事業費

アドバイザー	質問内容	説明者職・氏名	回答内容
五味アドバイザー	事業開始のH19以前のU・Iターン就職率の集計はあるか。	上野課長	H19以前は就職相談室があった。資料があるかは不明。
五味アドバイザー	U・Iターン就職者は増えているのか。	上野課長	<p>県内就職率の一番古い集計はH16年度：22.5%。最新データはH27年度：24.7%。最低の数値はH19年度：18.4%であり、H20年度のリーマンショック前の人手不足感が大きかった年代。リーマンショック後は、就職難が続き、最低の数値から回復してきた。</p>
五味アドバイザー	U・Iターン就職率の数値の把握の方法は。	上野課長	<p>大学へアンケートを行い、集計しているが、県内出身者が居ない大学等については、回答に積極的ではない。U・Iターン就職率の分母（県内出身者1,435人）は回答した151校における数値である。</p> <p>また、短大から大学への編入、大学から大学院への進学等があり、全体のしっかりした分母を把握するのは、非常に困難である。</p> <p>1,000人を超える回答があり、就職率の数値については、ある程度の精度があると考えている。</p>

諸平アドバイザー	U・Iターン就職フェアの周知方法は。(大学訪問、ユースバンク登録者へのメール以外)	上野課長	やまなし暮らし支援センターへの相談者へ、ユースバンクと同様のメールを送っている。大学のキャリアセンターにもメールをし、県内出身者への周知をお願いしている。
諸平アドバイザー	H29年1月15日の移住・交流&地域おこしフェアの来場者が多い理由は何か。	畑野リーダー	移住・交流&地域おこしフェアは、山梨県のみではなく、全国的な移住フェアであるため、来場者数が他のイベントと比べ多くなった。
小口アドバイザー	参加企業の中で、民間のガイダンスに出られない企業の割合はどの程度か。	上野課長	民間のガイダンスに出ている企業からの申込は無く、全て中小企業からの申込である。
小口アドバイザー	中小企業の募集方法は。	上野課長	県のHPにガイダンス情報掲載、企業ナビ登録企業にはメールで周知している。機械電子工業会等の企業団体へも情報を流している。
小口アドバイザー	就職フェアの学生へのアピールの仕方は。「小さくても光る企業」など差別化して打ち出した方が良いのではないか。	上野課長	「県内企業の就職フェア」として打ち出している。
小口アドバイザー	離職者をターゲットとしたU・Iターンは行っているか。新卒は売り手市場なので、第2新卒をターゲットに検討いただきたい。	上野課長	やまなし暮らし支援センターに来所した相談者の対応をしている。今後、直接アプローチする方法を検討していきたい。ユースバンク等に登録があった方を対象に、卒業後2～3年後、山梨県の企業情報の提供を行う 新しい施策を打ち、転職者へ山梨県の情報を提供